

水辺の生きもの図鑑 ～魚類など～

鹿児島市では、川の上流ではタカハヤ、上流から中流にかけてオイカワ、中流から下流にかけてカワムツがよく見られます。流れがおだやかな川の中流や下流ではコイなどが見られるほか、汽水域^{*}ではボラなどが見られます。また、サワガニやヒラテテナガエビなども見られます。

※淡水(塩分をほとんど含まない水)と海水が混じりあった、塩分の少ない水。



タカハヤ

冷たい水を好むため、上流に多い。体はヌルヌルしている。



オイカワ

明るい瀬に多い。産卵期のオスはきれいな青、赤、黄色に色づく。



カワムツ

濃い藍色の線が特徴。産卵期のオスは、鮮やかな朱色になる。



サワガニ

川の上流にすみ、県内では青白色から赤色までいろいろ見られる。



コイ

食用のほか、観賞用のニシキゴイも有名。コイには幼魚の頃からヒゲがある。



アユ

清流の魚として、古くから親しまれている。甲突川のアユ釣りが有名。



メダカ

主に水田や水路など、止水域に生息する。



ヒラテテナガエビ

ハサミがやや太く、早瀬など流れのあるところにすむ。



ボラ

汽水域に多く、市街地の川でも見られる。水面を高くジャンプする。



ドンコ

水草の中や石の下に隠れて、小魚や水生昆虫などを捕らえる。



ゴクラクハゼ

下流の汽水域に多い。川底が砂地のところを好む。



ニホンシガメ

昔から親しまれてきたが、最近、数が減っていると情報あり。